

# 大津赤十字病院を受診された患者さんへ

本研究は、当院の倫理委員会で承認され、大津赤十字病院の施設長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	術中に体位変換をしない single-docking ロボット支援腎尿管全摘除術の導入期アウトカムについての検討 (No.817)
当院の研究責任者 (所属)	七里 泰正 (泌尿器科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	
本研究の目的	<p>上部尿路上皮癌（腎盂尿管癌）に対するこれまでの標準的な低侵襲手術としての腹腔鏡下腎尿管全摘除術は、2022年4月にロボット支援下手技も保険収載され、当院でも2023年3月から同術式を導入し、先進施設の報告にならってダヴィンチ Xi のターゲティング機能を用いて術中の体位変換や再ドッキングは行わず、側臥位のままで手術を完遂する手技（Single-docking ロボット支援腎尿管全摘除術（RANU））を取り入れている。</p> <p>本研究は、これまでに施行した single-docking RANU の臨床データ(患者背景、周術期成績、画像検査、手術動画など)を後ろ向きに抽出・検討することで、今後の技術研鑽を通じて診療レベルを向上させることを目的としている。</p>
調査データ 該当期間	2023年3月1日から2023年9月30日までの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さん 上記期間内に single-docking ロボット支援腎尿管全摘除術を受けた上部尿路上皮癌の患者さんが対象となります。</p> <p>●利用する情報 該当する患者さんの臨床情報を診療録（カルテ）より取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>診断時年齢、性別、身長、体重、併存症、内服薬</li><li>血液検査、病理検査</li><li>CTなどの画像検査、手術動画</li><li>手術内容</li><li>合併症・有害事象</li><li>治療成績</li></ul>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への情報提供はありません。
個人情報の取り扱い	データはすべて匿名化して扱われます。また、データは厳重に管理されます。個人情報および診療情報などのプライバシーは厳重に保護されます。保管期間終了後は復元不可能な状態に破棄いたします。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	大津赤十字病院 泌尿器科 七里 泰正 TEL : 077-522-4131(代表) FAX : 077-525-8018
備考	